

キャリア合宿セミナー2019日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、合宿形式の集中授業です。

＜国際キャリア教育、International Career Seminar共通＞

1日目

9:00～ 9:30	受付
9:30～ 9:45	開講式／オリエンテーション
9:50～12:00	全体講義／ワークショップ
12:00～12:50	昼食
13:00～13:20	趣旨説明／発表のプレゼン方法説明
13:20～15:20	パネルトーク
15:50～17:50	分科会
18:30～20:00	交流会

2日目

7:30～ 8:20	朝食
8:30～12:00	分科会
12:00～12:50	昼食
13:00～15:30	分科会
15:30～17:30	分科会まとめ／中間発表準備
17:30～18:30	中間発表
18:30～19:30	夕食
19:30～21:30	発表準備（自由）

3日目

7:30～ 8:20	朝食
9:00～10:00	発表準備
10:00～12:20	全体発表
12:20～13:10	昼食
13:20～15:00	振り返り／意見交換／全体総括等
15:00～15:15	閉講式
15:30	バスで宇都宮駅・大学に移動・解散（現地解散也可）



申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから（<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>）
2. 申込用紙の送付（申込用紙請求先メールアドレス：kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp）
申込開始：2019年5月7日(火) 申込締切：2019年6月30日(日)（定員になり次第締め切ります。）
分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。
参加費振込：申込受付後、事務局からメールにて連絡致します。（期限までに振込がない場合はキャンセル扱いとなる場合があります。）

問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171
E-mail kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

とちぎグローバル人材育成プログラム共通科目



グローバル時代のキャリア形成を考える

国際キャリア教育プログラム

参加者募集

2019 合宿セミナー開講！！

国際キャリア教育

日時
2019年9月14日(土) 9:30
～16日(月) 15:15

定員：60名（先着順）

International Career Seminar

日時
2019年10月12日(土) 9:30
～14日(月) 15:15

定員：60名（先着順）

共通事項

参加費：13,000円（食費、宿泊費込）
会場：コンセーレ（栃木県青年会館）
宿泊 ※JR宇都宮駅西口からバスで15分程度
<http://www.concere.jp/>

詳細はホームページでご確認ください！！

[国際キャリア教育プログラム](http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/) 検索

<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の共通科目として、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学
後援：（公社）栃木県経済同友会、（公財）栃木県国際交流協会、NPO法人 宇都宮市国際交流協会、
いっくら国際文化交流会、JICA筑波
協賛：（一財）栃木県青年会館、（公財）あしぎん国際交流財団



国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

全体講義

混迷の時代の国際キャリアを考える ー真のグローバル人材に必要な条件ー

講師：重田 康博（しげた やすひろ）

宇都宮大学 国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長

全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

プロフィール：

1956年生。北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了（博士・学術）。国際協力推進協会（APIC）主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員（イギリス・ロンドン）、NGO活動推進センター（現、国際協力NGOセンター、JANIC）主幹等を経て宇都宮大学国際学部教授、国際学部附属多文化公共圏センター員、専門は国際開発研究、国際NGO研究。JICA環境配慮助言委員。開発教育協会評議員、JVCとちぎネットワーク代表。福島原発震災に関する研究フォーラム・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）、『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）、「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育ー持続可能な世界のために』（学文社 2008）、『激動するグローバル市民社会ー慈善から公正への発展と展開』（2017）他。

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国際ビジネス

A. 変革の時流に乗って

講師：石川 尚子（いしかわ ひさこ）

オリオンコンピュータ株式会社 代表取締役

分科会内容：

日本では、この4月から入国難民法の改定に伴い、多くの外国人労働者の入国が予想されます。勿論、日本でもこの外国人労働者の受け入れにより、働き方や社会などに大きな変革がもたらされると考えられます。この時代をどのように乗り越えて行くか？について、皆さんと議論しながら、「今、私たちに出来る事」を探って行けたらと思っています。

プロフィール：

栃木県立今市高等学校卒業後、地元企業に就職。いくつかの職業を経験の後、最後の仕事で出会ったコンピュータの可能性を感じ、1998年オリオンコンピュータ株設立。その後2005年オリオンIT専門学校設立。現在、アジア圏の留学生に沢山学んでいただいております。

国際協力・国際貢献

B. 自己矛盾が無い、を仕事にしてみたら

講師：伊藤 解子（いとう ときこ）

開発コンサルタント会社 国際協力コンサルタント
特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター（JVC）理事

分科会内容：

国際援助業界、国際協力分野で働くとは。NGOでも ODA事業でも共通して大切なことは、仕事を通して目指すもの、得られるものとは。教育協力事業を事例に、共に体験し、考えてみたいと思います。

プロフィール：

東南アジアで民間企業勤務後、（公社）シャンティ国際ボランティア会で東南アジア、アフガニスタン等での教育協力、緊急救援事業に14年間従事。JICA本部勤務後、ラオスの初等教育事業に専門家として従事、その後現職。英国リーズ大学院開発学修士号、英国ロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）地域学（東南アジア）修士号取得。

国際協力・国際貢献

C. 国際協力とキャリア： 多様な生き方と無限の可能性

講師：飯塚 明子（いいつか あきこ）

宇都宮大学 留学生・国際交流センター 助教

分科会内容：

世界中で発生している貧困や災害といった課題は、その地域の人々だけで解決するのは難しく、他の国や地域の人々の協力が不可欠です。この分科会では、国際協力に関わるアクターを解説し、講師がこれまで実践してきた海外事業を紹介しながら、国際協力に必要なことやどのように関わっていくかについて一緒に考えます。

プロフィール：

米国の大学を卒業し、オランダの大学院で国際協力を学ぶ。インドのNGOインターンシップを経て、神戸のNGOや国連機関で勤務した後、ベトナムとスリランカに4年ずつ駐在し、防災分野の国際協力事業に従事。京都大学で地球環境学博士を取得し、宇大に来て3年目。兵庫県出身、2児の母。

多文化共生と日本

D. 超高齢社会を考える

講師：佐藤 栄治（さとう えいじ）

宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 准教授

分科会内容：

日本の超高齢社会化は世界一進んでいるとされ、日本が抱える社会問題は、超高齢社会を迎える国々から注視されています。本分科会では、各国の事例をもとに、医療・介護のあり方を多文化共生の観点から議論します。

プロフィール：

1976年生。厚生労働省国立保健医療科学院を経て、2010年に宇都宮大学に着任。専門は、都市計画、医療・福祉（介護、保育、障害など）政策支援。近年では、医療計画策定に向けた基礎研究、医療・介護の連携のあり方、公共施設のマネジメント手法等、国、県、地方自治体との実践的な研究に取り組んでいる。

多文化共生と日本

E. いくつもの日本 ～アイヌ民族から考える多文化共生～

講師：廣瀬 陸人（ひろせ たかひと）

宇都宮大学 地域創生推進機構 宇大アカデミー UUカレッジ コーディネーター
一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事（元宇都宮大学教授）

分科会内容：

日本列島には古くからアイヌの人々が住んでいます。主として本州以南で暮らしてきた人々とは異なった北の風土に根ざした豊かな文化を今に伝えています。「日本文化とは何か」を考えるときに、アイヌ文化を抜きに語ることはできません。日本は在日外国人だけでなく、アイヌ民族も含めて多くの民族と多彩な文化によって構成されています。「多文化共生」は日本の文化と歴史の問題です。日本文化はそうした多様な民族と文化を包摂した豊かな存在なのです。分科会は、地域デザイン科学部准教授若園雄志郎先生とともに展開します。

プロフィール：

1956年生、北海道白老町出身。2000年～2015年まで宇都宮大学教授。その後一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事、栃木県人権施策推進審議会会長を務める。

異文化理解コミュニケーション

F. 人の力を掛け算にするコミュニケーション

講師：岩井 俊宗（いわい としむね）

特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事

分科会内容：

世界でも足元にもある地域の課題を立ち向かって行く中で、必要不可欠な協働（共に力を活かす合）していく。組織を越えたパートナーシップによって課題解決していくこうとする「コレクティブインパクト」という概念も広がっています。その基盤となる人の力を掛け算にしていこうコミュニケーションに自信が持てるような3日間にしたいと思います。

プロフィール：

1982年生、宇都宮出身。宇都宮大学国際学部卒。大学では国際協力における住民主導の開発と市民組織を専攻。その後NPO・NGOを支援するセンターでボランティアコーディネーターとして勤務。08年若者の力を活かして地域の課題解決、活性化の加速するコミュニティネットを専門とするNPO法人創設し現在まで代表を務める。多くの市民の巻き込み地域課題に向かう事業の創出・支援に取り組む。2児の父。妻は国際学部の同級生。

International Career Seminar Globalization and Glocalization

全体講義

Critical Thinking and Reasons for Being : Finding Meaningful Work in A Global Age

講師：Barbara Morrison, Ph.D. バーバラ モリソン

宇都宮大学 国際学部 准教授

全体講義内容：

In this group session we will be talking and thinking about *"Ikigai"* and the ways in which we can begin to bring a sense of meaning (raison d'etre: reason for being) into our work lives. Using critical thinking as a guide, we will work together to understand how to both discover and cultivate what is meaningful for each of us in order to pursue and to accomplish careers both domestic and abroad.

プロフィール：

My career path has been varied to say the least and not without defeats. Very early in my career I understood that my best life lay in education and academia, but as I felt my family was unsupportive of that endeavour I turned to business - taking positions in real estate and head-hunting after having explored careers in law, government, retail, journalism, non-profit and the arts - before eventually finishing degrees in both Japanese and English literature.

分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

入門 Introductory Work Session

国際協力・国際貢献

A. Give A Man Fish or Teach Him Fishing?

～ or there's no fish because the river is polluted? ～

講師：Naomi Fukuda 福田 直美

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業担当

分科会内容：

Whether in humanitarian or development context, an event looks different – depending on from where we look at and how we analyze. In this session, we cultivate various views of international cooperation and discuss what we need to do for the future through simulation of context analysis and project planning.

プロフィール：

After experiencing media industry, Naomi has been involved in refugee issues in Middle East through the work with NGOs and UN agencies for over 10 years. She is a holder of MA degree in conflict study from University of Leeds and is currently pursuing social work study in Japan.

国際協力・国際貢献

B. Multidisciplinary Approach in Field Based Studies

講師：Tatsuhiko Ohkubo, Ph.D. 大久保 達弘

宇都宮大学 農学部 森林学科 教授

分科会内容：

The aim of this session is to discuss about building research concepts, necessary skills and its application in field based studies, especially in multidisciplinary approach solving complex issues on sustainable land use and natural resource management that are of common interest to participants of various backgrounds and disciplines.

プロフィール：

His current research interest is on "Effects of natural and anthropogenic disturbance on pattern and process of regeneration resilience in Tropical Forests of South East Asia (Sarawak/Malaysia, Northern Thailand, South China) and Temperate Deciduous Forests in East Asia (Japan, Korea) . He was a former director of Satoyama Science Center of Faculty of Agriculture, UU, and will be happy to discuss, with participants, mutual interests in the field studies especially in rural and mountain region in SE and E Asia.

多文化共生と日本

C. Living With Others Or Living Alone?

講師：Kazuhiko Yoshida, Ph.D. 吉田 一彦

宇都宮大学 国際学部 教授

分科会内容：

In the session we will be deconstructing the Japanese concept *"kyōsei"* and conducting with a lot of imagination a variety of case studies and simulations of living together with joy and happiness. Participants are strongly expected to work on a set of guided preliminary communication practices with friends in their mother tongue and in English.

プロフィール：

Kazuhiko YOSHIDA, descendant of Emishi and Yamato from Rikuzen-Takata, is a learner/user and instructor/researcher of human languages. He lived in France as a student and in Pakistan and Thailand as a language teacher. After receiving a Ph.D. in linguistics, he has been teaching linguistics and multilingual communication at Utsunomiya University since 2003 and supporting volunteers overseas since 2007. Although he has visited over thirty countries and worked with people of a hundred of different nationalities, he is being amazed by the diversity of the world.

国際ビジネス

D. Be Your Own Boss

講師：Madeleine Sakashita 坂下 マデリン

大東文化大学及び白鷺大学 非常勤講師 IELTS試験官

分科会内容：

In this session, you will hear about how I and my family members transformed our hobbies, interests, and skills into a livable wage and business. You too, by being your own boss and doing what you are passionate about, can find a great work-life balance.

プロフィール：

Madeleine is from the USA and has lived in Japan for 35 years. She has worked in all levels of education from kindergarten through university in both public and private schools. She opened and ran her own conversation school for 12 years and is presently a university part-time lecturer and an IELTS examiner.

中級以上 Intermediate Work Session (TOEIC550点程度以上から)

国際ビジネス

E. Discovering Opportunity

講師：Jack Kwok ジャック クオック

グーグル合同会社 Google Cloud 上級クラウド ソリューション マネージャー

分科会内容：

During the group work, you will learn how to discover opportunity around you and how to come up with an action plan to realize the opportunity with your ideas and creativity.

プロフィール：

Jack Kwok is a Googler working on helping enterprises to adopt new technologies and innovations to transform their traditional work style to "Work the way you live," by creating a working environment for empowering employees to become more creative and collaborative in order to gain the full power of their potential. He believes that technologies and innovations are important elements to improve human life and provide opportunities for everyone to access and gain knowledge that was not easy to access in the past.

異文化理解コミュニケーション

F. Making Meaningful Connections

講師：Andrew Reimann, Ph.D. アンドリュー ライマン

青山学院大学 文学部英文学科 准教授

分科会内容：

Globalization, interconnectivity and access to information have created both challenges and opportunities. Success requires being able to adapt, predict, improvise and pioneer new ideas while challenging old ones. In this seminar we will learn to communicate across differences and connect with others to create ideas that spread.

プロフィール：

Andrew Reimann (PhD, Applied Linguistics) teaches and researches intercultural communication, comparative culture studies and media literacy. He is from Vancouver, Canada and currently lives near Tokyo, Japan. Growing up in a bilingual family (English and German) and in a multicultural country (Canada), I was interested in how people could connect and communicate across differences. Intercultural communication uses language, observation and experimentation to unlock, explore and understand hidden differences for mutual benefit and exchange. I am looking forward to making new connections.